

地域密着型通所介護「リハビリデイサービスまな」

運営推進会議 議事録【第11回（書面開催）】

日時：令和3年8月 書面開催		場所：リハビリデイサービスまな			
ご利用者様 A様	地域代表 C様	武蔵野市職員	代表	事業所職員	
ご家族様 B様			相談員		

◆議題	◆議事内容
<p>1. 利用状況について（R3年 7/1 現在）</p> <p>利用者の年齢分布 男女比 介護度分布 家族構成 等</p> <p>2. まなの活動内容</p> <p>理学療法士による毎回の個別訓練は昨年4月から実施無しとなり、レッドコードでの体操・マシーントレーニングを中心とした運動が主となっている。</p> <p>希望に応じて平行棒での段差昇降、下肢の温熱器での保温等も実施。</p> <p>3. 新型コロナウイルスによる影響、対応等</p> <p>基本的な予防対策（マスク着用・手指消毒・換気等）を実施継続。昨年最初の緊急事態宣言時はコロナ不安による欠席も数名出たが、今年は今の所同様の理由での欠席はほとんど見られない。（年明けに1名だけコロナ不安によりしばらく休止されたが、現在は通常利用されている）</p> <p>4. ご意見・ご要望</p>	<p>1. コロナ禍以前と比べての登録者減少はあるが、本年は昨年よりも新規利用者の数は増えている。これまで男性の割合の方が多い事が特色的だったが、現在は女性が過半数となっている。要介護度別の割合、家族構成（家族同居・一人暮らし等）の割合は登録者の入れ替えが多かったがあまり変化は見られなかった。今夏も暑さが厳しい事が想定され、利用時のマスク着用をお願いしているので、熱中症への注意喚起も徹底していく必要がある。</p> <p>2. 基本となるプログラムに大きな変更は無く、利用者各々の体の可動状況に応じてマシーントレーニングの実施判断や負荷調整を行っている。3ヶ月毎に「体力測定」の形で下肢筋力の測定等を行っているが、コロナ禍の影響による活動量の減少傾向はある中で、全体的に概ね維持されている方が多いと言える。</p> <p>3. 感染予防の基本対応を継続して実施。利用者のワクチン接種は2回終了者が8割くらいとなり、市による「優先接種」によりスタッフも接種終了。今の所当事業所関係者での陽性者は出ていないが、引き続き出来る限りの予防対策を図っていく必要がある。</p> <p>4. 以前あった「個別訓練」が無くなったのが残念。段々と体の”弱り”を感じるようになってきたので、これからも永く通えたらと思う。デイに行っている間に家事ができて助かる。変わらず元気に通ってほしい。コロナが増えて不安も増してるので、大変と思われる。今後も感染予防策を講じた上で、コロナ禍により外出機会が減少している方の健康維持・増進に努めてほしい。 等</p>